

あうんだより

デイサービスセンターあうん広報 / 令和7年11月

相談員 杉澤 琴美

秋の深まりに感傷的になる暇もなく、あうんでは行事が豊作です！知恵を絞ったり、首をかしげたりしながらも充実して過ごした10月の活動をご報告いたします！

あうんハロウィン2025



10月のはじめ、あうんは一気にハロウィン仕様になります。オレンジ色の賑やかな装飾は心が浮き立ちますね。歴史が浅いため利用者さんの世代的にはあまり知られていないイベントですが、あうんでは毎年開催していますので利用者さんたちも「なんじゃこりゃ？」とならずに自然に受け入れてくれます。

イベント当日、まずは昼食が特別でした。メインは可愛く盛りつけたハロウィンカレーと、血のように赤いピーツのポタージュスープ。ピーツはあうん畑でこの日のために育てていました。利用者さんたちは「食べるのがもったいない」「子どもにも見せてあげたい」と言ってくれます。

午後には利用者さんに確実に楽しんでもらえるイベントが始まります。颯爽と(?)登場したのは、あうん名物・カボチャマン！！あれは誰だ！？と会場は大騒ぎ。インパクトが強く夢に出てきそうです。

そうこうしているうちに、待ちに待ったお客さんが到着します！来てくれたのは学童保育の小学1～3年の子どもたち。「おやつをくれなきゃイタズラするぞ！」の元気なかけ声に、利用者さんたちは嬉しさ爆発！我々スタッフがどんなに頑張ってもそこまで喜んでくれないのに、子どもたちのパワーには適いませんね。さよならしてから名残惜しくて、玄関までお見送りしました。

その後、手作りカボチャマンフィンでティータイムとなりました。この日の利用者さんは仮装にも前向きで、でっかいカボチャ帽子やマントをつけて楽しんでいました。子どもたちと触れ合った余韻もあって、なんとも和やかな幸せな空気に包まれていました。



十五夜お月さん

十五夜って、毎年違う日なんですね。しかも満月とは限らないんですって！その理由をインターネットで調べて利用者さんにお話ししても、話している側も聞いている側も？？？になってしまう不思議な日。あうんもこの日は不思議な行事を行います。

まずはお月見団子づくり。あうんは毎年「ずんだ餅」を作ります。なぜずんだ餅なのか？それは誰にもわかりません。

お餅は試行錯誤して辿り着いた、噛みやすく飲み込みやすい黄金比率。利用者さんにお手伝いいただいてお餅を可愛い一口サイズに丸め、みんなで皮むきした枝豆をすりつぶした餡をのせます。色鮮やかでとっても綺麗。

さて、ずんだ餅でティータイム…となる前に、登場するのはこの2人！！お月さまの姿をした「満月太郎」と枝豆の姿をした「枝めめ子」です！！軽快な音楽とともに現れてダンスタイム！1回では寂しいからアンコール！ダンスショーの興奮が冷めやらぬまま、お次は利用者さんたちとの記念撮影です。長い人生の中でも、満月と枝豆に挟まれて写真に納まるのは初体験ですよ。

そしていよいよずんだ餅でティータイム。枝めめ子がお給仕します。ずんだ餅は美味しく出来ていて、間近で右往左往と動き回る満月も見られて、よく働く枝豆もいて、なかなか良いお月見になりましたよね？企画している我々としても、やっぱり不思議ですが。



こぼれ話

ハロウィンの1週間ほど前、本物のカボチャを使ってジャック・オー・ランタンを作ります。利用者さんも「初めて見た」と興味津々で見ってくれるのですが、関心ごととはランタンよりもこのカボチャが食用か否か。カバの餌になっているのは見ましたよ、とお伝えしていたのですが、1人の利用者さんが「食べてみる！」とひとかじり。ちょっとギョッとしましたが、それならばとスタッフもかじってみたところ、例えるなら熟す前の柿。ほんのり甘くて漬物なら美味しく食べられそうでした。何でもやってみなければわかりませんね。ナマコやホヤを人類最初に食べた人もこの利用者さんのような勇者だったのでしょ。ちなみにお腹は壊しませんでしたよ。



↑ ずんだ作り

↓ 十五夜



YouTube